エクシズルラインの

ソトアソビバージョンアップ大作戦！ Part 1

真夏の紫外線を確実にカットする ライノラックのバットウイングオーニング

夏のソトアソビの天敵となる、猛烈な日差しと強力な紫外線。
クルマの横から後ろまで、270度の面積をカバーする画期的なオーニング、
ライノラックの「バットウイングオーニング」を夏の浜辺で検証してみたゾ！

270度に広がる「バットウイングオーニング」をハイラックスにセットするには、レイトナーデザインの「アクティブ カーゴ システム」をデッキスペースに装着する。車種に合わせた形状や各種ブラケットを用意しているので、抜群のフィット感を実現することができる。

問≫エクシズルライン
☎0761-58-1937　https://exizzle-line.co.jp
PHOTO／三井伸太郎

ホイールは、デルタフォース・オーバル（17×8J IN20）をチョイスし、モンスタ・テレーングリッパー（265/70R17）のオーストラリアンタイヤを組み合わせる。ドレスアップ性をアピールしつつ、正確に路面をグリップする性能も両立する。

砂辺などでタイヤがスタックした場合にあると便利なスタックラダーをデッキスペースに装備。スタックしたタイヤの下に滑り込ませ、タイヤをグリップさせることで、砂に埋もれたタイヤを救出することができる便利なアイテムだ。

カーゴキャリアシステム「レイトナーデザイン」を装着。軍用レベルの高品質アルミを使用し、好きなツールを組み合わせることで、収納力や使い勝手が格段にアップする。砂ホコリや雨などから荷物を守る収納ボックスは、アウトドアユーザーからの信頼も厚い。

海へ山へキャンプ場へと、アウトドアシーンを快適な仕様にバージョンアップできるエクシズルラインのアイテムたち。そのなかでも今回は、クルマの横から後ろまで、２７０度に開く展開時の姿が壮大で、広大な日陰面積を獲得できるライノラック社製の「バットウイングオーニング」にフィーチャーするゾ。

オーストラリアの厳しい自然環境（特に紫外線量は強く、日本の約７倍とも言われている）でノウハウが培われたライノラックのオーニングは、タフなだけでなく、使い勝手の良さも追求した仕様が魅力。独自の展開方式を採用しているので、展開＆収納もカンタン。１人でも、ものの数分で設営＆撤収できる使いやすさも人気の秘密なのだ。

もちろん、タープは紫外線をカットし、防水＆防カビ効果もあるので、夏のフィールドで大活躍すること間違いナシ！　別売りのエクステンションを装着すれば、就寝可能な巨大テントにもなるスグレモノと、非常に便利なオーニングとなる。

今回のハイラックスには、デッキスペースにレイトナーデザインの「アクティブ カーゴ システム」を装着し、「バットウイングオーニング」を搭載しているが、ハイエースやジムニーなどのルーフのある車種には「パイオニアプラットフォーム」というルーフラックを装着し搭載する。これにはラダーからアイボルト、フック、ストラップなど、オプションパーツが豊富にラインナップされているので、荷物に合わせた積載方法も可能だ。

夏の厳しい紫外線をカットするコウモリが羽を広げたような姿は、ソトアソビには欠かせないアイテムだ。

フロントには、ハイラックスをタコマ顔に換装させるキット「タコマックス フロントフェイスキット」を装着し、本場USAの雰囲気を演出する。「バットウイングオーニング」がサイドに収まるフォルムもスマート！

270度に展開できる オーストラリア生まれのサイドオーニング

上空から見ると、まさにコウモリの羽のように270度に展開しているライノラックの「バットウイングオーニング」。タープは紫外線カットはもちろん、防水＆防カビ効果もあるので、高温多湿な日本の夏に大活躍すること間違いナシ！　広い面積の日陰を確保することが可能だ。

どんな国のクルマでもスタイルでも対応するタフなギアをラインナップ！

今年で30周年を迎えるオーストラリア発のキャリアラックメーカーのライノラック。〝サイのようにタフなラック〟がブランド名の由来とのことなので、オーストラリアの過酷な環境下でも高品質をキープできる理由などを来日した輪出マネージャーのサム氏に聞いてみた。

「ライノラックは30年前に職人用のラックを作ることからスタートしました。業務用のラックを作りながら、自転車やキャンプギアを積むレジャー用としてラックを展開できないか？　と開発を進め、30年になります」

当時は、安価で粗悪なルーフラックが多く、落下事故などが多かったとのこと。

「田舎のほうに行くと、２日間も舗装されていない道を走りっぱなしなどが進化しているのだろうか？

「まずは空気抵抗ですかね。装着するクルマ側も近代的な流線形になり、そのフォルムに合わせてラックの空気抵抗も効率よくしています。さらに、剛性をキープしつつ、軽量化も実施しています。クルマの上に載せる以上、軽いにこしたことはないですから！　とにかく毎日、ルーフラックのことばかり考えてます（笑）！」

日本では、実用性よりもドレスアップアイテムとして装着するユーザーも多いが、その辺りはどうなのだろうか？

「もちろん、ウエルカムです！　それだけライノラックが日本でも認められているということですから。オーストラリアでも、多数の人がドレスアップアイテムとしてルーフラックを装着しています。ルックスはもちろんですが、これからも高機能で高性能な商品を開発し、リリースできればと考えてます」

商品ラインナップの多さに加え、アクセサリー類も豊富に用意するライノラック。だからこそ、どんなクルマでも、どんなカスタマイズでも対応でき、ユーザーの希望を叶えてくれる。ぜひ、チェックして欲しいルーフラックブランドだ！

はもちろんですが、バットウイングオーニングも、耐久性はもちろん、紫外線カットや防水＆防カビ、さらに広大な日陰の面積を確保できます。グッドデザイン賞も受賞するなど、ルックスにもこだわりを持って製作しています」

30年前から品質は日々向上しているとのことだが、具体的にはどのあ

Special Interview スペシャルインタビュー

Exctive Manager **SAM EU**

ライノラックの輸出の責任者として来日。〝あきめない精神〟がモットーで「いつでも必ず解決方法がある」と、何事にもチャレンジする。愛車はパジェロ→チェロキー→プラドと乗り継ぎ、現在はルーフラック付きのベルファイアを所有している。